

新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部
(新型インフルエンザ等対策本部)
知事メッセージ

令和3年9月10日
青森県危機対策本部

新型コロナウイルス感染症に係る対応について

「この秋 最大のコロナ危機 終わらせよう。」

青森県内では、新規感染症患者はピーク時より減ってきたものの、クラスターが頻発しており、また、入院・療養者が増加したことにより、病床がひっ迫し、医療崩壊につながりかねない状況が続いています。

最近の事例としては、感染が御家族、そして、職場や学校、保育施設などへ広がり、さらにその御家族へと感染が連鎖しているものもあります。また、学校に関連する感染も増加しており、学級閉鎖や学年閉鎖等の措置をとる学校も出ている状況です。

感染の拡大に伴い、PCR検査を受ける方も増え、検査結果が陰性であっても、健康観察期間中、出勤、通学なども含めて外出等の自粛を求められている方々が非常に多くなっており、もはや他人事ではありません。

県民の皆様方の命と暮らし、そして、医療の現場を守るために、引き続き、あらゆる場面で、人の流れを抑制し、人同士の接触の機

会を減らし、感染拡大を抑え込む必要があります。

また、昨日、政府は緊急事態措置及びまん延防止等重点措置の9月末までの期間延長と実施区域の変更を決定いたしました。引き続き、県民の皆様方は県外との不要不急の往来を控えてください。また、青森県以外にお住まいの方々も本県への旅行や移動を控えてください。

皆様方には、これまでの御協力に心から感謝いたしますとともに、引き続き御不便をおかけしますが、新型コロナウイルス感染症緊急対策パッケージの実施に、何とぞ御理解と御協力をお願い申し上げます。

なお、八戸市中心街の対象区域で実施している飲食店に対する営業時間短縮の協力要請については、飲食店に関連する感染の拡大の封じ込めに一定の効果があつたものと考えており、予定どおり今月12日で終了いたします。御協力いただいている事業者及び利用者の方々に厚くお礼申し上げますとともに、残りの期間についても引き続き御協力をお願いいたします。

次に、県の取組についてですが、今後とも、医療提供体制の充実・強化を図るため、入院病床や宿泊療養施設の更なる確保を進めるとともに、クラスター発生時等における保健所機能やPCR検査体制を強化し、ワクチンの接種も推進していきます。

加えて、感染症の影響による離職者等を支援するとともに、緊急対策パッケージの終了後も見据え、消費喚起による地域経済の活性化を図るための取組なども考えています。

なお、これらについては、来る9月定例県議会に補正予算案とし

て提案すべく準備を進めているところです。

この正念場を乗り越え、県民の皆様方が安心して働き、学び、暮らすことができるよう、引き続き、全力で取り組んでまいります。重ねまして、皆様方のお力添えをお願い申し上げます。